事業所名	コロロ風音（カノン）	（児童発達支援（ジドウ ハッタツシエン））	支援プログラム	作成日	2025 年	4 月	22 日

法人（事業所）理念	【いつでも　どこでも　誰とでも】 誰一人として排除しない／みんなは一人のために 一人はみんなのために／療育とは科学であり技術であり生活文化である／療育の主体者は親である											
支援方針	自閉症をはじめとした発達障害を持つ子どもたちとそのご家族に、コロロメソッドによる療育プログラムを実践・提供します。											
営業時間	平日	9	時	30	分から	13	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし

	支　援　内　容
集会	・お子さんの興味を引くような教材と集団を使う事で、長時間の着席が苦手なお子さんも無理なく着席を続けられるよう支援します。＜認知・行動＞＜運動・感覚＞ ・スタッフの歌や動きに合わせ模倣する事で社会性や対人関係の芽生えを支援します。＜言語・コミュニケーション＞＜人間関係・社会性＞
戸外歩行	・身体を動かす活動を通じて、健康に過ごせるよう支援します。＜健康・生活＞＜運動・感覚＞ ・まとまった距離を歩く事で、集中力・持続力を高めます。＜健康・生活＞＜運動・感覚＞＜認知・行動＞ ・周囲の速度に合わせる、公道を歩くルールを学び、社会生活のスキルアップを図ります。＜人間関係・社会性＞
自由遊び	・周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から、並行遊び、連合的な遊び、協同遊びの段階を通して社会性が発達するよう支援します。＜人間関係・社会性＞ ・遊びを通して、視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用できるよう支援します。＜運動・感覚＞
製作・作業	・身近な道具の使い方を学び主要手・補助手の機能分化を促します。＜運動・感覚＞ ・流れ作業を行う事で、相手のペースに合わせる事が出来るよう支援します。＜人間関係・社会性＞
食事・身辺処理	・身の回りの生活動作（手洗い、衣服の着脱など）が身に付くよう、お子さんの理解度に合わせてプログラムを立て、くり返し練習していきます。＜健康・生活＞＜運動・感覚＞ ・それぞれの手の発達に合わせて食具の練習を行います。＜健康・生活＞ ・発達の視点から偏食指導を行います。無理なく食事が楽しめるよう、バランスよく食べる練習をしていきます。＜認知・行動＞

家族支援	個別の家庭療育プログラムを作成し、具体的な指導・アドバイスを行います。	移行支援	必要に応じて保育所等の先生とお子さんの様子や支援方針について情報共有します。
地域支援・地域連携	公共の施設や乗り物を利用する際はマナーを守り、楽しむことを経験します。	職員の質の向上	内部研修を行い障害への理解を深めたり、新しい支援方法を学んだりします。スタッフミーティングで現在の支援方針について検討し、お子さんの支援方法に関する情報を共有します。
主な行事等	クリスマス会や遠足などの季節行事を行っています。		

事業所名	コロロ風音（カノン）　（放課後等デイサービス（ホウカゴトウ））	支援プログラム	作成日	2025 年	2 月	6 日

法人（事業所）理念	【いつでも　どこでも　誰とでも】 誰一人として排除しない／みんなは一人のために 一人はみんなのために／療育とは科学であり技術であり生活文化である／療育の主体者は親である											
支援方針	自閉症をはじめとした発達障害を持つ子どもたちとそのご家族に、コロロメソッドによる療育プログラムを実践・提供します。											
営業時間	平日 学校休業日	14 9	時	30 30	分から	17 16	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし

	支　援　内　容
集会	・お子さんの興味を引くような教材と集団を使う事で、長時間の着席が苦手なお子さんも無理なく着席を続けられるよう支援します。＜認知・行動＞ ・スタッフの歌や動きに合わせ模倣する事で模倣力の向上を目指します。＜言語・コミュニケーション＞＜運動・感覚＞
戸外歩行	・身体を動かす活動を通じて、健康に過ごせるよう支援します。＜健康・生活＞＜運動・感覚＞ ・３、４kmのまとまった距離を歩く事で、集中力・持続力を高めます。＜健康・生活＞＜運動・感覚＞＜認知・行動＞ ・周囲の速度に合わせる、公道を歩くルールを学び、社会生活のスキルアップを図ります。＜人間関係・社会性＞
集団学習	・提示される教材を見て、座り続けられるよう支援します。＜認知・行動＞ ・指名されたら前に出て答える、それ以外の時間は静かに見ているなど、集団参加の仕方が身に付くよう支援します。＜言語・コミュニケーション＞＜人間関係・社会性＞
製作・作業	・身近な道具の使い方を学び主要手・補助手の機能分化を促します。＜運動・感覚＞ ・流れ作業を行う事で、相手のペースに合わせる事が出来るよう支援します。＜人間関係・社会性＞
食事・身辺処理	・身の回りの生活動作(手洗い、衣服の着脱など)が身に付くよう、お子さんの理解度に合わせてプログラムを立て、くり返し練習していきます。＜健康・生活＞ ・よく噛み、バランスよく食べる、時間内に食べ終える、準備・片付けをスムーズに行えるなどを目標に支援します。＜健康・生活＞ ・発達の視点から偏食指導を行います。無理なく食事が楽しめるよう練習していきます。＜認知・行動＞

家族支援	個別の家庭療育プログラムを作成し、具体的な指導・アドバイスを行います。	移行支援	必要に応じて学校の先生とお子さんの様子や支援方針について情報共有します。
地域支援・地域連携	公共の施設や乗り物を利用する際はマナーを守り、楽しむことを経験します。	職員の質の向上	内部研修を行い障害への理解を深めたり、新しい支援方法を学んだりします。スタッフミーティングで現在の支援方針について検討し、お子さんの支援方法に関する情報を共有します。
主な行事等	クリスマス会や遠足などの季節行事を行っています。		